

2025 年 4 月 1 日

2025 年度 産総研イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 受講生（博士・修士課程大学院生・学部 4 年生）の募集

産総研イノベーションスクールは、専門分野についての深い知見を有しつつ、より広い視野を持ち、豊かな創造性や協調性を有する若手研究者の育成を目的としています。毎年度 10 月に開講する「研究基礎力育成コース」は、**大学院生・大学院進学予定の学部 4 年生**を対象とした半年間（10 月～3 月）の人材育成コースです。

将来、研究者として自立するためのスキルを磨くことを目的として、独自の講義・演習を行います。プレゼンテーション及びコミュニケーション技術、論文・申請書作成方法、キャリアデザイン等に関する講義・演習を通じて、**専門分野の枠を越えて産学官で活躍する創造性豊かな研究者としての基礎力**を身に付けます。産総研内外の講師による講義、専門分野の異なるスクール生同士による演習、先輩との交流会等を通し、**自己の再発見、キャリアプラン構築、人的ネットワーク作り**をサポートします。**今年度も講義・演習をオンラインで開催**します。

大学院生・大学院進学予定の学部 4 年生の皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

2025 年度 イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 募集要項

カリ キュ ラム	【日程】 ・10月20日(月)～24日(金)：開講式、第1回講義・演習 ・11月17日(月)～21日(金)：第2回講義・演習 ・2026年1月下旬：外部成果発表会（SAT テクノロジー・ショーケース）¹ ・2026年2月上旬：成長報告会 ・2026年3月上旬：修了式 （産総研で研究実施する方） ・2025年10月～2026年3月：産総研受入責任者との研究実施² ¹外部成果発表会はつくばサイエンス・アカデミー（SAT）主催のイベントです。要旨、ポスター原稿を指定された期日までに SAT 事務局に直接提出してください。宿泊・旅費等はイノベーションスクールの規定に基づきイノベーションスクール事務局が負担します。 ²産総研受入責任者に研究費を支援します。 【講義演習の開催形式】 オンライン（Microsoft Teams または Zoom） 【講義・演習内容】 別紙参照 *10月と11月の講義、理事長講義の終了後に講義レポートを提出していただきます。全レポートを提出することが修了の要件となります。 全ての講義・演習をオンライン形式で実施 半年間のカリキュラム イノベーションスクール 技術研修生として受入れ 講義・演習 (2週間程度) 異分野コミュニケーション キャリアデザイン 学術論文・予算申請 プロジェクト立案等 産総研で研究 (希望者のみ) 研究現場で最先端の研究を体験 他、ポスдок生、修了生とのオンライン交流イベント等 自立した研究者を目指す 人的ネットワーク形成
応募 条件	・博士または修士課程の大学院生、大学院進学予定の学部4年生 ・原則として全ての講義・演習及び行事に参加できること ・オンライン講義に対応可能な通信環境を自身で整えることができること ・日本語で実施される講義・演習に対応できる方

提出書類	Forms 入力後、メール返信の連絡に従って以下の書類を提出すること <一次書類審査で必要な書類> ① 履歴書（Word で提出） ② 居住性等に関する確認書（PDF で提出） ③ 自己アピール票（Word で提出） ④ 所属大学の指導教員の承諾書(PDF で提出) <二次書類審査で必要な書類> ⑤ 技術研修申請書³(産総研で研究を希望しない方のみ) ⑥ 産総研受入責任者の承諾書⁴(PDF で提出) ⑦ 誓約書(PDF で提出) ⑧ 肖像、個人情報及び著作物使用同意書(PDF で提出) ³講義・演習のみを受講し、産総研での研究実施を希望しない方は、イノベーションスクール事務局長が受入れ責任者となります。産総研で研究を実施する方は、産総研受入れ研究者に技術研修申請書を提出してください。 ⁴受入研究者が決まっている方は応募前に受入研究者に直接コンタクトをして受入承諾書を準備してください。受入研究者が決まっていない方は、次のサイトもご利用ください。 「https://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html」。産総研受入責任者が決まっていない場合は事務局が産総研研究者とのマッチング支援、もしくは受入責任者となることも可能です。マッチング希望の方は7月28日までにエントリーをお願いします。マッチングは必ずしも成立しない場合がありますので、ご了承ください。 * 応募に際して頂いた個人情報については、選考及びイノベーションスクールの運営等に必要範囲内でのみ利用し、応募者の同意なく他の目的での利用は行いません。 * 提出して頂いた応募書類は返却しません。
応募方法	エントリーサイト：https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html エントリーサイト  * 専用フォームに入力後、事務局よりメールで応募書類提出の方法および期限について連絡します。3 営業日以内にメールが届かない場合は事務局にお問い合わせください（8/12～8/15 は返信が遅れる可能性があります）。
応募締め切り	エントリー締切：8月18日（月）14:00 厳守 （産総研受入責任者が決まっていない方は、7月28日までにエントリーをお願いします。） 書類提出締切：8月25日（月）14:00 厳守
選考方法	・一次書類審査：提出書類を審査し、メールで結果を順次通知 ・二次書類審査：提出書類を審査し、メールで結果を通知 ・合格通知（通知日）：2025 年 9 月上旬（予定）
結果通知	9 月上旬を目途にメールにて順次通知（可否に関する個別の問い合わせには回答不可）
参加費	無料

募集 人数	100 名程度（2024 年度実績：83 名入校）
問 合 せ 先	〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第一 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくば本部・情報技術共同研究棟 9 階 イノベーションスクール事務局（募集担当） メール：school-saiyou-ml@aist.go.jp ホームページ 

[別紙] イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 講義・演習内容 (カリキュラムの例)

講義・演習

人間力を磨く	
マナーコミュニケーション研修	ビジネスを円滑に進める上で必要である各種作法を、実践形式で学ぶ。
プレゼン塾	異分野コミュニケーションに必要なプレゼンテーション方法について学び、自身の発表について講評を受ける。
コーチングとその活用法	持続的な学びとその定着化のためのコーチングのスキル、及び、異分野間での連携力を高めるためのスキルを身に着ける。
キャリア開発演習	自己診断テストから自身の性格やキャリア形成に必要な事柄を客観的に把握し、今後の職業選択のための指針を得る。
研究者倫理	研究者が守るべき規範や研究不正行為の事例等について学び、研究者が一般社会の中で置かれた立場と役割を理解する。
連携力を学ぶ	
社会で求められる力	企業などでの実践例を紹介しながら、社会の中で活動していく上で求められる力を理解していく。
企業・業界を知るために	国内企業・業界の構造や特徴を理解し、就職先調査のための重要なポイントを学び、今後の職業選択のための指針を得る。
大学院生のキャリアデザイン	民間企業が大学院生に求める資質について理解し、今後の就業先選択の際の指針とする。
研究プロジェクト立案ワークショップ	多様な人々と対話・協働しながらプロジェクト化していく方法をグループワーク形式で体感的に学ぶ。
スクール生交流会	分野・大学・年次の異なるスクール生同士で、テーマを決めて交流し、今後の研究生活に役立つ繋がりを形成する。
研究力を育む	
考える力の鍛え方	大学院生や研究者に必要とされる考える力・創造力について、それらは何なのか、どのように鍛えられるのかを学ぶ
研究論文とは何か	研究論文はどうあるべきか・どう書くべきかについて、産総研を代表する研究者より、経験を踏まえて紹介する。
トップジャーナルに投稿する際の論文作成法	学術雑誌の査読から掲載までの手続きを学ぶ。また、学術雑誌に論文を投稿する際の傾向と対策を、演習を交えて学ぶ。
研究費を獲得するということ	学振特別研究員への応募を例にとり、競争的研究費の申請の仕方、申請書の書き方を学ぶ。
産総研の研究紹介	産総研を代表する研究者より、大学院生に向けて研究の取り組みや成果等について紹介する。(数件)

①履歴書

ふりがな			性別		写真貼付け ・3 カ月以内に撮影したもの ・正面、無帽、無背景であること
氏 名					
生年月日	(西暦) 年 月 日生(満 才)2025 年 10 月 1 日時点	国籍			
現住所	(現住所) 〒				
	(電話) (携帯電話)				
	(連絡先) 〒				
	(電話)				
Email	(PC のみ)				
学 歴 (学科・専攻 まで記入) 行不足の場合 備考または別紙 (様式自由)	(高校)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒業	
	(大学)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒, 卒見, 中退	
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退	
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退	
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退	
職 歴 その他 行不足の場合 備考または別紙 (様式自由)	期 間	勤務先・所属・職名			
	(西暦) 年 月～ 年 月				
	※産総研での勤務歴がある場合はすべて記入のこと。例：産総研〇〇研究センター第二号契約職員（テクニカルスタッフ）、産総研〇〇研究センター第七号契約職員（リサーチアシスタント; RA）。また産総研 ID を併せて記載すること。				
これまでに 取り組んだ 研究テーマ					
主な専門 分野	(キーワード5つ程度)				
資格免許	(日本語能力試験資格(JLPT))等はこちらに記載	賞 罰			
趣味娯楽		健康状況			
配偶者	有・無（扶養義務 有・無） ※記載は任意です	扶養親族 (配偶者除く)	子 人 / その他 人	※記載は任意です	
備 考	(学歴において一年以上の空白(大学入学準備のため予備校に通学していたなど)ある時はここに記載)				

Word 形式のまま送付のこと。枠の高さを適宜調整し、1 ページに収めること。

居住性等に関する確認書

産総研での活動開始時点におけるご自身の日本における居住性等の状況をご記入ください。

☐ 日本の居住者です。

⇒ 「特定類型該当者^(※1)」に該当しますか？

☐ 該当しません。

☐ 該当します。

⇒ 類 型 : ☐①に該当 ☐②に該当 ☐③に該当

法 人 等 名 : ○○社、○○大学等

該当する理由 : 上記法人と雇用関係にあるため等

☐ 日本の非居住者^(※2)です。

⇒ 日本以外の政府等^(※3)や日本以外の法人等^(※4)との関係性がありますか？

☐ 日本以外の政府等^(※3)や日本以外の法人等^(※4)と以下3点の関係性はありません。

☐ 日本以外の政府等^(※3)や日本以外の法人等^(※4)と雇用関係にあります。

雇用関係にある法人等名 : ○○社、○○大学等

☐ 日本以外の政府等^(※3)による財政的支援を受けています、又は受ける予定があります。

資金提供元・資金の名称 : ○○政府、○○委員会等

☐ 日本以外の政府等^(※3)の指示で行動しています。

指示を受けている政府等の名称 : ○○政府、○○委員会等

(※1) 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項の規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について(平成4年12月21日付4貿局第492号)の1(3)サ①、②、③に該当する居住者。

(※2) 外国為替及び外国貿易法(昭和24年法律第288号)第6条第1項第6号の非居住者。

(※3) 日本の独立行政法人に相当する法人を含む。

(※4) 企業、大学、研究機関等を含む。

記入日 : ○○○○年○○月○○日

法人名 : 法人名をご記載ください。

所属・役職 : 所属・役職をご記載ください。

氏名 : ご氏名をフルネームでご記載ください。

(署名)

産総研での活動期間中、ご提出いただいた内容に変更がある場合には改めてご提出ください。

ご不明な点がありましたら、別紙『「居住性等に関する確認書」の提出につきまして』をご覧ください。

【個人情報の取り扱いについて】

本確認書で取得した情報は、外国為替及び外国貿易法に基づく安全保障輸出管理及び経済安全保障上の情報管理の観点での、弊所の業務遂行のみに使用します。本確認書は、弊所規程に則り保存期間満了後に除却致します。

以上

③ 自己アピール票

フリガナ:

氏名:

年齢: 歳 (2025 年 10 月 1 日時点)

産総研所属ユニット(現在産総研技術研修員の方のみ):

これまでの研究活動及び自己アピール(図面やグラフの使用可)

抱負・将来ビジョン

Word 形式のまま送付のこと。枠の高さを適宜調整し、1 ページに収めること。

④所属機関の指導教員の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

所属機関:

所属機関郵便番号・住所:

役職名:

氏名の記名(楷書):

ご署名: _____

*連絡先(直通電話番号):

*メールアドレス(正確にご記入下さい):

*スクール講義・行事中の有事の際や修了後のフォローアップ等で連絡させていただくことがあります。

下記応募者が、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが実施する 2025 年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名:

以上

⑤ 技術研修申請書

番 号
年 月 日

国立研究開発法人産業技術総合研究所技術研修申請書

国立研究開発法人産業技術総合研究所

理事長 石村 和彦 殿

住 所
所 属 機 関 名
代表者の職名、 氏名

下記のとおり、国立研究開発法人産業技術総合研究所技術研修規程を承諾し、技術研修について申請します。

記

- 1 技術研修の目的 産総研の研究を例に、研究の提案・進め方・社会実装等の方法を習得する
- 2 技術研修の内容 産総研内部および外部の講師による講義の受講等、研究実施
- 3 技術研修希望期間 2025 年 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで（6 か月間）
- 4 希望する技術研修担当者
所属
氏名
- 5 技術研修を受けようとする者
氏名
年齢
現在の職名
- 6 その他
 - ・ 学生の場合は以下に□にチェック願います。
□連携大学院制度 □インターンシップ ☒ 学生実習
 - ・ 事務担当者の連絡先 必ず記載してください。
機関名
所属
氏名
TEL
 - ・ 添付書類
技術研修を受けようとする者の履歴書
学生教育研究災害傷害保険に加入していることを証する書面の写し

⑥産総研受入責任者の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

所属ユニット:

氏名の記名(楷書)及び署名:

下記応募者が、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが実施する 2025 年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名:

以上

⑦誓約書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

私は、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが開講する 2025 年度研究基礎力育成コースに応募するに当たり、下記のことを誓約致します。

1. 健康上など特段の事由のない限り、講義・演習及びイノベーションスクールが指定する行事（開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会）に参加いたします。
2. その他、イノベーションスクールの指示・指導又は決定に従います。

所属機関：

氏名（署名）：

⑧ 肖像、個人情報及び著作物使用同意書

産総研イノベーションスクール（以下「スクール」といいます。）では、研修・行事、連絡、実績報告等スクールの運営を適切に行うため、選考・手続過程で取得した皆さまの個人情報（氏名・ふりがな・所属等）を、スクール事務局及び産総研関係部署が使用するだけでなく、外部講師、他のスクール生・その指導担当者等に示すことが必要となります。

また、スクールの行う研修・行事の様子を広く一般の方々にお知らせし、スクールへの理解を深めていただくために、公式ホームページ・SNS、パンフレット、チラシ、メールニュースといった媒体により広報活動を行っており、皆さまの肖像（個人を特定できる写真・動画）、個人情報（氏名・ふりがな・所属）及び著作物（スクールの広報活動への使用を目的とした原稿等）をこれらの媒体に載せていくことがあります。

つきましては、使用目的、方法及び範囲^{（注1）}をご理解のうえ、「肖像、個人情報及び著作物使用同意書」をご提出いただきたく何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

肖像、個人情報及び著作物使用同意書			
産総研イノベーション人材部長 殿			
私の肖像、個人情報及び著作物の使用に係る同意に関しては、以下の通りです。			
	同意する	同意しない	下記項目について、左の「同意、同意しない」欄のいずれかにチェックをお願いいたします
運 営 目 的			選考・手続過程で取得した個人情報 運営のためにスクール事務局及び産総研関係部署が使用するほか、研修・行事に関連して、氏名・ふりがな・所属、産総研個人ID、専門分野、メールアドレス・写真を他のスクール生・その指導担当者、外部講師・その所属機関その他の者に示すこと
広 報 目 的			肖像 ^{（注2）} 写真、動画（個人を特定できるもの）
			氏名・ふりがな
			所属 所属ユニット及び大学・研究科・専攻・課程の名称 スクールの在籍期・在籍年度
			著作物 ^{（注3）} 広報目的でスクールに提出・提供する原稿等
本同意書提出後に、掲載、使用・提供について削除や留保したいとのご希望がある場合は、スクール事務局までご連絡ください。但し、印刷物（紙媒体）となっているときには、直ちに応じられないことがありますのでご了承ください。 〔連絡先〕産総研イノベーションスクール事務局 E-mail: school-jimukyoku-ml@aist.go.jp （注1）スクール事務局が、スクールの運営及び広報目的で、スクール事務局の認める媒体により地域や期間の制限なく無償で、肖像・個人情報・著作物を使用・第三者に提供することの同意となります。目的外で使用・提供する場合には、別途、同意をいただくものとします。 （注2）スクールの研修・行事中にスクール事務局又はスクール事務局の認める者が撮影した写真・動画を使用・編集することの同意となります。 （注3）全ての著作権（著作権法第21条から第28条までの権利）をスクール事務局に移転することの同意となります。著作人格権（著作権法第18条から第20条までの権利）は不行使とさせていただきます。ご了承ください。 氏名（署名）： _____ 日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日 所属： _____			